

さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

崎山中学校だより
4月27日 第2号
文責 校長 山下



令和3年度学校経営について

今年度の学校教育目標は、昨年度同様「さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成」です。「ふるさと崎山人」として、古き良き伝統の「さつきやま魂」の誇りと自覚をもってほしいという願いが込められています。誇り（プライド）とは、そのことを名譽に思うこと。将来、たとえ五島を離れたとしても、自信をもって、「五島の崎山出身で、さつきやま魂の誇りをもっていきます。」と堂々と言える青年、更には、現在はもちろん、予測困難な将来においてもふるさと崎山に貢献する青年を育てたいと思います。

今年度の学校経営のキーワードは、「信頼と協働」「育てる」です。学校・家庭・地域が、崎山の子供たちを、「信頼と協働」で「育てる」という願いを込めています。三つの柱として、

- ①一人ひとりに誇り添い、生徒の力可能性を信じる特別支援教育の推進
- ②将来を見据えたキャリア教育の推進 自己鍛錬力、自己表現力、課題解決力
- ③「さつきやま」に誇りを持ち、貢献するふるさと教育の推進（人材育成を全職員で実践します。これらをひままえ、

○主体的・対話的で深い学びの実践と主体的活動の充実
(学習意欲の向上、自己有用感の高揚)
○家庭・地域との連携・協働体制の構築(家庭学習、挨拶等)

を重点努力目標として設定し、学校教育目標達成を目指します。

さつきやま魂 (めざす生徒像)

- 先人から脈々と伝わる
- ・①進んで挨拶し、行動する魂
 - ・②ふるさと、人を愛する魂
 - ・③粘り強く、あきらめない魂
 - ・④奉仕の心で働き抜く魂
- 古き良き伝統を守り続けます
- 自主
一友愛
一錬磨
一勤労
校訓**

歓迎行事をしました

16日、歓迎遠足の予定でしたが、雨のため、体育館で新入生歓迎行事を実施しました。



お昼前に全校生徒が体育館に集合し、ソーシャルディスタンスを意識しながら仲良く昼食をとりました。午後からは、生徒会執行部の企画・運営によるレクレーション。最初のドッジボールでは、1年生と教職員の合同チームもよく健闘しましたが、昨年度に引き続き、2年生が優勝しました。その後、全校でのフルーツバスケット、学年対抗のジェスチャーゲームを行い、子供たちはもちろん、私たち教職員も楽しいひとときを過ごしました。執行部の皆さん、ありがとうございました。



中総体まで1か月

いよいよ中総体まで1か月となった。これを、「あと1か月しかない。」と思うか、「まだ1か月ある。」と思うかはその人次第だ。私の指導者としての経験からは後者である。この1か月で、個人の筋力や瞬発力、持久力等が2倍、3倍になることはまずない。しかし、この1か月の過ごし方や練習の仕方ではチーム力や個人の技術力、試合感等は、間違いなく2倍、3倍になる可能性がある。では、どうすればよいか。

私は2つあると思っている。一つは、自己暗示である。例えば、「このようなプレイや技が出たら必ず得点や1本がとれる。」という暗示を常に自分にかける。

もう一つは、常に、試合を意識して1日の過ごし方や練習をしているかである。例えば、「今日は試合。朝からしっかりとごはんを食べて・・・このフリースローは試合を決定する・・・このサーブは流れをかえる・・・自分が勝たないと団体をこたえない・・・。」など、意識して練習するだけでなく、力は、2倍、3倍になる可能性がある。

実践するかどうかは君次第だ。
頑張れ、崎中生!